

公募申請R4-4：①yuriCargoプロジェクト（仮）

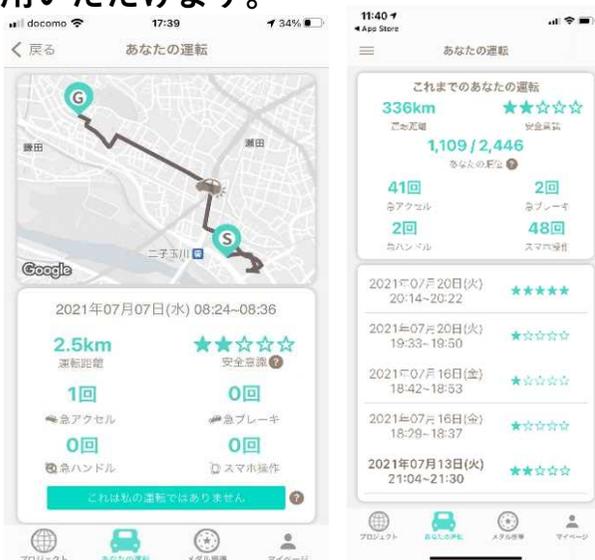
提案団体	株式会社デンソー		
道路の課題	<ul style="list-style-type: none"> 自治体にとってETC2.0等のビッグデータ利活用のハードルが高い データに基づいた通学路等における交通安全の確保のPDCAの実施が困難 「市民参加・市民との協働」で行う交通安全活動が限定的 		
解決策（アイデア）	<ul style="list-style-type: none"> スマホアプリにより運転をスコアリングし、スコア、危険挙動個所とみんなの安全意識をアプリ上に表示 運転データから危険挙動個所のヒヤリハットマップを作成し、Webマップ画面に表示 		
効果	<ul style="list-style-type: none"> 取得した運転データにより交通安全のPDCAを支援 ドライバーが自身の運転、地域の交通安全や危険個所について関心を高め、交通安全活動への積極的な参加を促進 	道路政策ビジョンとの関連	③交通事故ゼロ
実績等	愛知県大府市、刈谷市で、危険個所の特定、効果検証など安全な道路づくりに役立てる取り組みを開始		

提案のイメージ

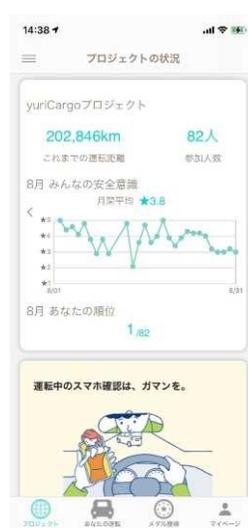
yuriCargo URL <https://yuricargo.com/>

yuriCargoプロジェクトは時間をかけずに楽しみながら参加できる、みんなで安心・安全なまちづくりを目指す取り組みです。
 スマホにアプリをインストールして運転するだけで、自動で運転を検知し、運転をスコアリング、安全運転意識を高めます。いっどこで減点されたのか、自分では気づかない危険につながるクセを自覚し、運転の振り返りを習慣化。
 運転データでつくるヒヤリハットマップは交通安全活動や安全で運転しやすいまちづくりに活用いただけます。

- スマホのセンサでチェック！
- 急加速、急減速、急ハンドル*
 - 連続運転時間
 - 運転中のスマホ操作*
- *現在、過剰検知につき一旦無効化



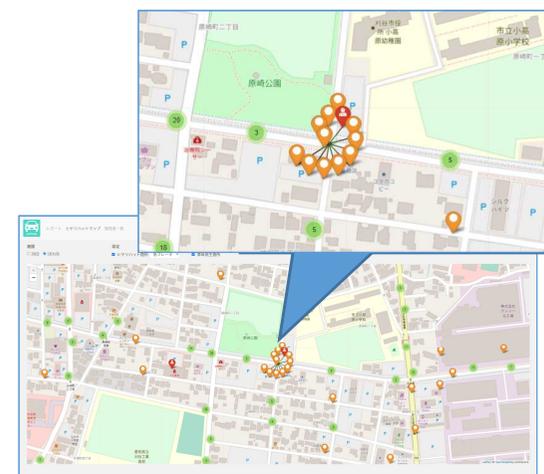
運転ごとの振り返り



参加プロジェクトの状況
安全意識を高めるコンテンツ
優良ドライバー認定書



メダル獲得状況



ヒヤリハットマップ(web提供)
 (yuriCargoデータから特定された車の危険挙動発生個所)

公募申請R4-4：②もしかもマップ×yuriCargo（仮）

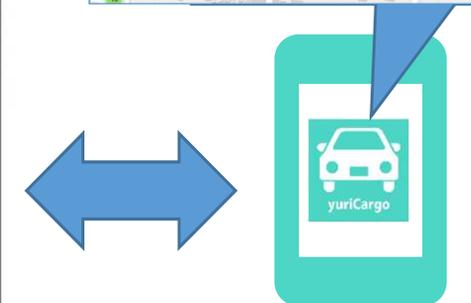
提案団体	イーデザイン損害保険株式会社、株式会社デンソー		
道路の課題	<ul style="list-style-type: none"> 自治体にとってETC2.0等のビッグデータ利活用のハードルが高い 「通学路における合同点検」結果の市民への開示やPDCAの実施にワークロードがかかる 「市民参加・市民との協働」で行う交通安全活動が限定的 		
解決策 (アイデア)	<ul style="list-style-type: none"> 「もしかもマップ」の住民からの歩行者情報と「yuriCargo」の運転データを活用して危険個所を特定 通学路の危険な場所を「もしかもスポット」として、ウェブサイト上で公開 「もしかもマップ」と「yuriCargo」で市民に参加してもらい、市民と協働での交通安全活動の実現 		
効果	歩行者およびドライバー双方が地域の交通安全や危険個所について関心を高め、交通安全活動への積極的な参加を促進	道路政策ビジョンとの関連	③交通事故ゼロ
実績等	【もしかもマップ】 全国90自治体と通学路の危険情報を連携 【yuriCargo】 愛知県大府市、刈谷市		

もしかもマップURL <https://www.sdw.e-design.net/moshikamo/>

提案のイメージ

「もしかもマップ」で住民から歩行者視点の危険個所情報を集め、「yuriCargo」の運転データでヒヤリハットを集め、双データに基づいて危険個所を特定

もしかもマップのトップ画面からメールアドレスでログインをすれば、危険だと思っていた場所などに簡単にもし子を立てることができます。
ログインをしなくても近くのもしかもスポットを見ることができます。



ドライブデータ
ヒヤリハット



公募申請R4-4：③運転寿命延伸プロジェクト（仮）

提案団体	株式会社仙台放送、株式会社デンソー		
道路の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上のドライバーが当事者となる死亡事故件数の割合は増加傾向 ・免許返納が社会的に迫られる一方、生活のために免許証を手放せない高齢者も数多い 		
解決策（アイデア）	<ul style="list-style-type: none"> ・脳体操アプリにより、運転技能をトレーニング ・スマホアプリにより運転をスコアリングし、スコアと危険挙動個所をアプリ上に表示し、運転技能を確認 		
効果	・高齢ドライバーの運転寿命を延伸	道路政策ビジョンとの関連	③交通事故ゼロ
実績等	脳体操アプリ：		

脳体操アプリURL <https://www.ox-tv.co.jp/brain/drive.html>

提案のイメージ

「脳体操アプリ」で運転技能をトレーニングし、日々の運転をスマホアプリ「yuriCargo」でモニタリング、確認し、低下の際には脳体操の実施を促し、運転技能を高め「なるべく長く、安全に運転」して健康に暮らせる社会を実現

危険な運転をチェックするだけで満足していませんか？
安全運転能力はトレーニングをして高める時代です！



「運転技能向上トレーニング・アプリ AI 版」の詳細はこちらの動画から
(スマートフォン・タブレットで右記二次元コードを読み取りアクセスしてください)

クルクルヒョーシキ



左右の標識の数字が大きいほうをできるだけ早く答える。素早い判断と動作をするための「認知速度トレーニング」

アブナイドロー

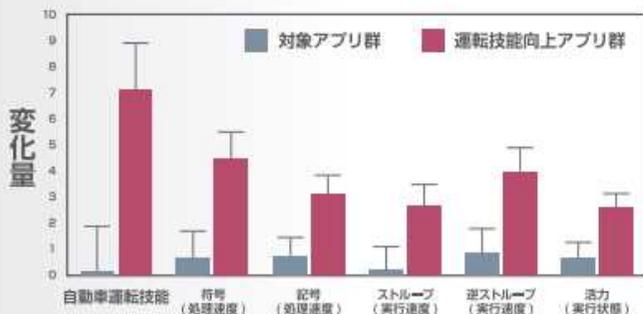


中央で回転するアイコンにあわせてボタンを押しながら左右から登場するヒトやモノに的確に反応する。素早く危険に気づくための「二重注意トレーニング」

ストップコーサテン



左から右に移動する車両が壁から出る直前を予測する。事前に危険に気づくための「予測トレーニング」



東北大学加齢医学研究所が行った実証研究によると、運転技能向上アプリを利用したグループは、それ以外のアプリを利用したグループに比べて、「自動車運転技能」「認知機能」「感情状態」が有意に向上することが分かりました。

「脳のトレーニング」で運転技能の向上を目指す



従来の安全運転管理はここまで

これからの安全運転管理は、運転の監視・指導に加えて、運転技能向上トレーニングも